

広島県立庄原実業高等学校
マイスター・ハイスクール事業



「地域の未来社会実装型農業をデザインする
アグリビジネスプレイヤーの創出

～ *Think Globally, Act from Shobara* ～

農業で、
未来を拓く。



1. 3年間の歩み



1. 導入期：ビジョン策定



目指す生徒の姿

地域の未来社会実装型農業をデザインするアグリビジネスプレイヤー

豊かな心と主体的に学ぶ姿勢を身に付け、農業の専門分野を究めつつ、身近な物事に対する課題意識を持ち、新たな価値を提案するとともに、地域や社会の持続的な発展に貢献しようとする生徒



1. 導入期：ビジョン策定

求める資質・能力

【地域や社会が高校段階で求める力】

- 経営の合理化を図る力
- 先端技術を積極的に導入する力
- 米を中心とした土地利用型農業を営む力
- 農産物等の6次産業化に取り組む力
- 地域に貢献できる力
- 地域の良さに気付く力
- 地域農業の中に農業経営の可能性を見出す力

1. 導入期：ビジョン策定

求める資質・能力

【地域や社会が高校段階で求める力】

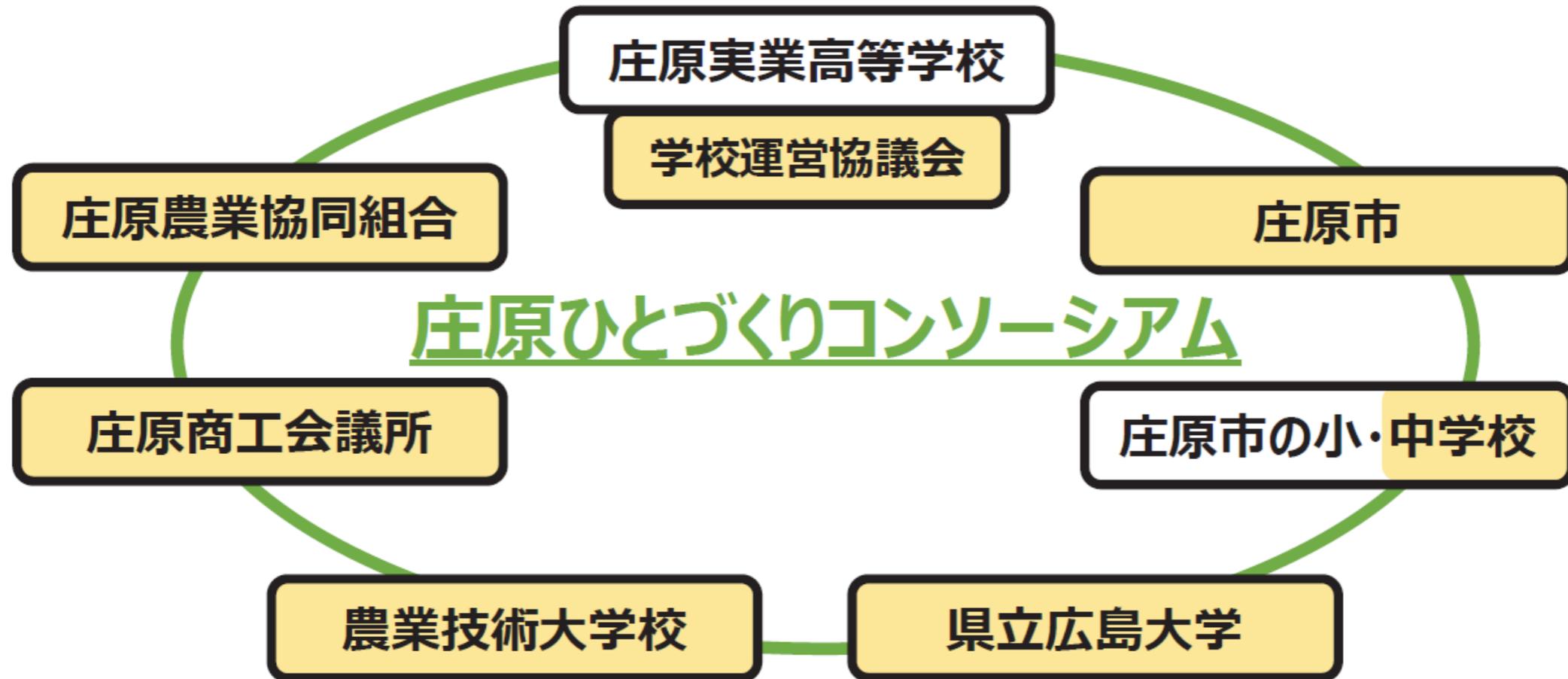
- 地域や社会の課題にビジネスとしての価値を見いだす力
- 自らの手で課題を解決しようとする力
- 社会の課題解決に携わることに価値を見出す力
- コミュニティを創る力
- コミュニティを繋ぐ力

1. 導入期：ビジョン策定

産学官の連携体制

学校運営協議会での協議内容、学校や地域の目標・課題を「庄原ひとづくりコンソーシアム」と共有することで、産学官が連携・協働した教育課程を計画的・体系的に実施

■：学校運営協議会にも参画



取組一覧

1 カリキュラムの刷新

- (1) 産学官一体型プログラムの開発と充実
 - ア 未来思考型PBL学習プログラム
- (2) 産学官一体型キャリアモデルの開発
- (3) 教育課程の刷新に係る検討
 - イ 先進校視察
 - ウ 科目「総合的な探究の時間」の取組

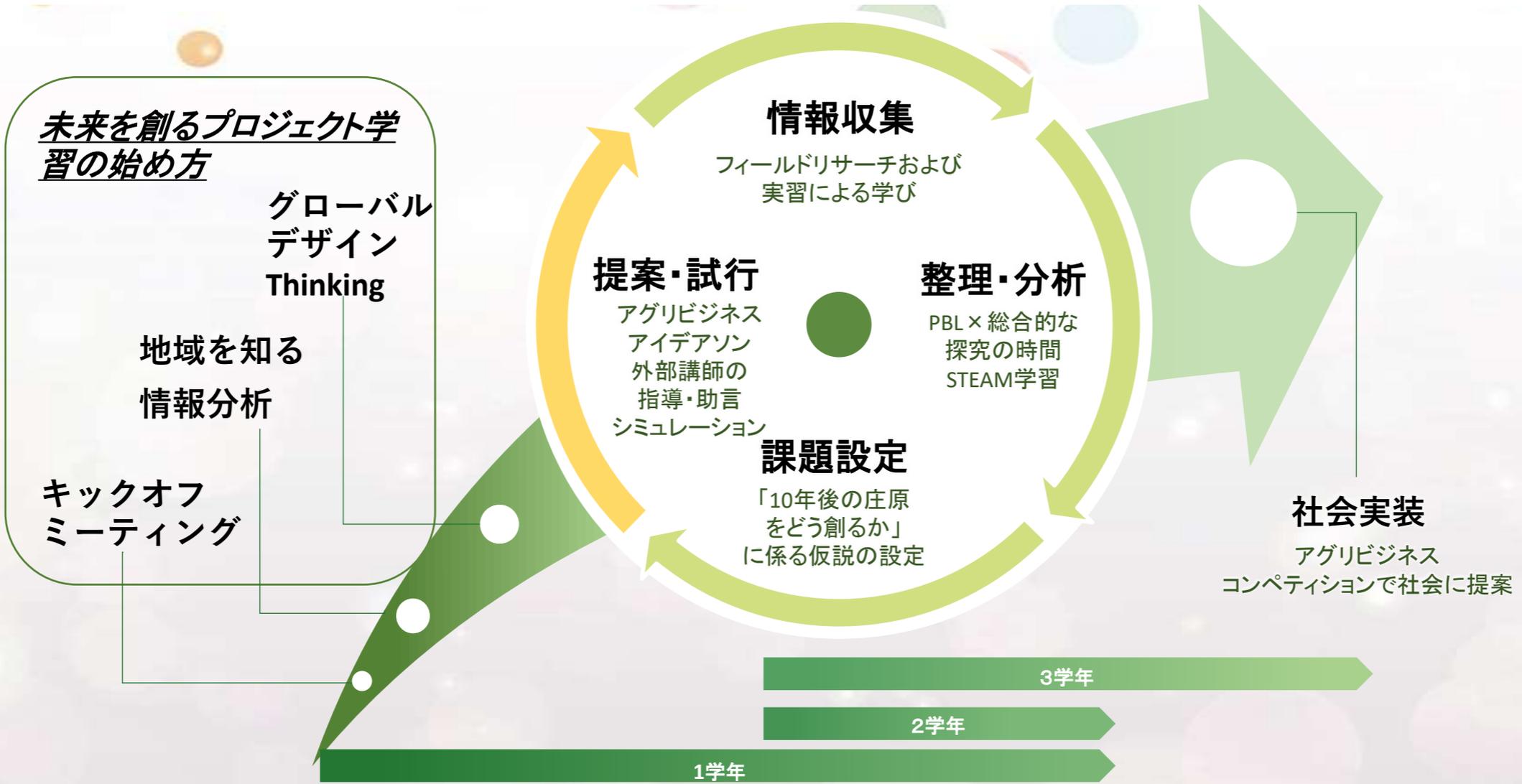
2 体制づくり

- (1) 内部環境
 - ア 校内体制の充実
 - イ 教職員の資質向上

3 外部環境

- (1) 外部人材の活用
 - ア マイスター・ハイスクールCEOの活用
 - イ 産業実務家教員の活用
 - ウ 外部講師の活用
 - エ 講演会の実施
 - オ 共同研究・共同施設利用
- (2) 魅力発信

カリキュラムの刷新 産官学一体型プログラムの開発と充実 「未来思考型PBL学習プログラム」



「未来思考型PBL学習プログラム」

「10年後、あなたはどんな
農業を創りたいですか？」

これから
みなさんに
地域の未来を
創ってもらいます

未来を創る プロジェクト学習の始め方

 1「キックオフミーティング」

・外部講師

 2「あなたにとってのキャリア」

 3「社会の変化で大切なことは何なのか？」

 4「農業を取り巻く環境はどう変化・進化するのか」

「未来思考型PBL学習プログラム」

自分の人生を振り返る

1-1
ワーク①

思いついたことを記入しよう

(個人：1分)

自分

って何？

あなたにとって
キャリアって何？

Phase 1-1
自分って何？

社会の変化で大切なことは何なのか？

Phase2-1

社会はどう変化しているのか

「未来思考型PBL学習プログラム」

未来を創るプロジェクト学習の始め方

 6「地域を知る」

連携授業
各学科に応じた外部講師との対話

 7「グローバルデザインThinking」

 8「アグリビジネスに何が求められているか」

連携授業
自己発見プログラム
クリエイティブ・カオス

 9「自身の未来はどうあるべきか」

 10「データでみる地域」

アグリビジネスに 何が求められるのか？

Phase4-2

アグリビジネスの未来に
何が求められるのか？

自身の未来はどうあるべきか

phase5-2

実業高校で学ぶことは
自身の将来にどのような
価値を創造するのか？

「未来思考型PBL学習プログラム」

未来を創るプロジェクト学習の始め方

 11「マナー講習会」

外部講師

 12「仮説検証」

 13「フィールドリサーチ」

現地での調査、電話やONLINE
での聞き取り

 14「仮説検証のための方法の検討」

「未来思考型PBL学習プログラム」

未来思考型課題発見解決型学習の実践

「未来思考型PBL」展開イメージ



「未来思考型PBL学習プログラム」

未来を創るプロジェクト学習での講師活用



「キックオフミーティング」
市商工会の視点
市農林振興課の視点

「地域を知る」
地域の各分野の
従事者



「グローバルThinking」
グローバル企業の視点



「未来思考型PBL学習プログラム」

未来思考型課題発見解決型学習の実践

「未来思考型PBL」展開イメージ



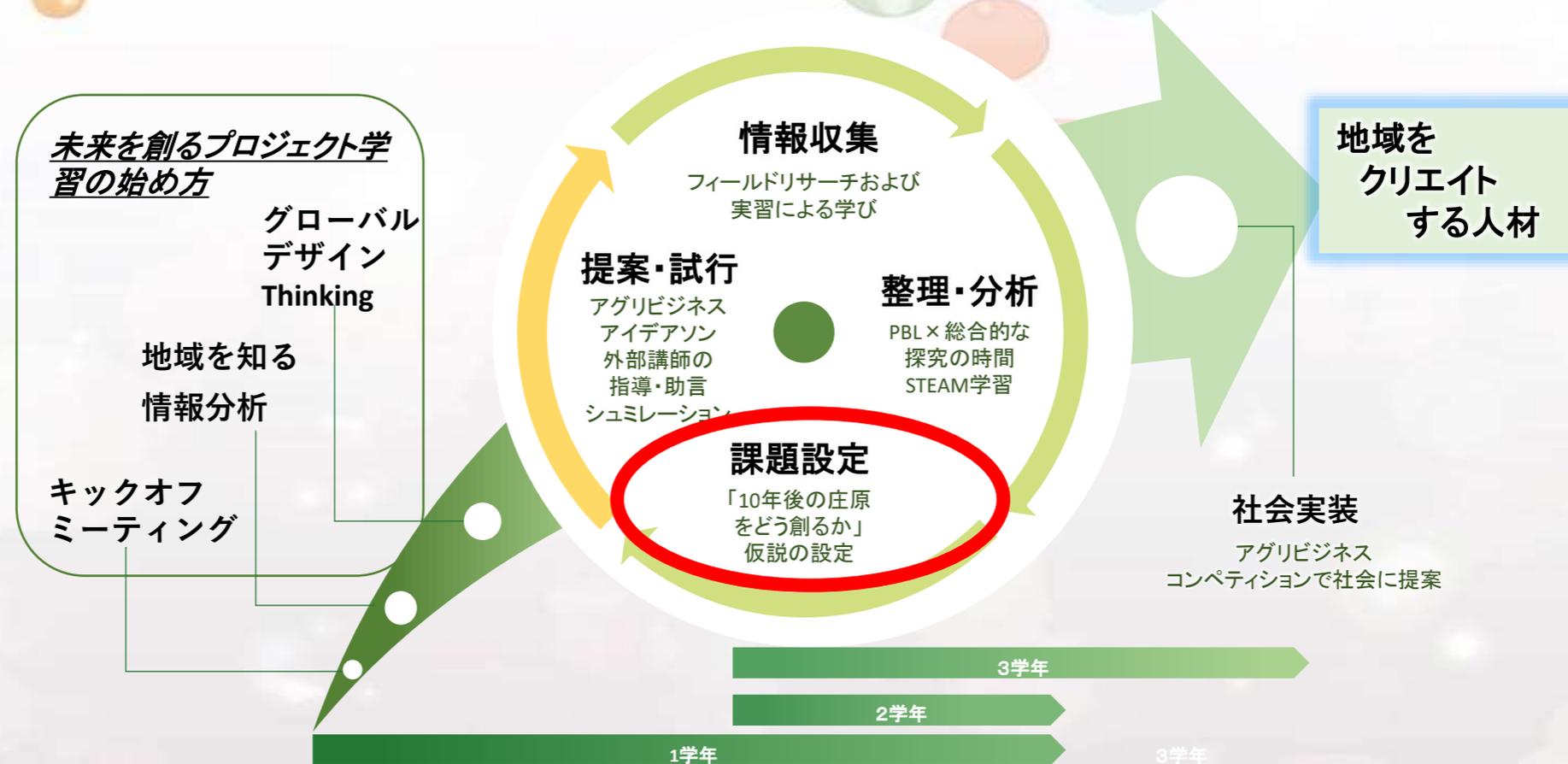
「未来思考型PBL学習プログラム」 フィールドリサーチ



「未来思考型PBL学習プログラム」

未来思考型課題発見解決型学習の実践

「未来思考型PBL」展開イメージ



「未来思考型PBL学習プログラム」

未来を創るプロジェクト学習の始め方

 15「アドバイスとブラッシュアップ」

 16「企画素案作成」

 17「アグリビジネスアイデアソン」

外部講師より
指導助言、意見交換

 18「仮説検証のためのシミュレーション」

外部との連携
校内農場でのシミュレーション

「未来思考型PBL学習プログラム」

未来思考型課題発見解決型学習の実践

「未来思考型PBL」展開イメージ



「未来思考型PBL学習プログラム」 アグリビジネスアイデアソン



メンター
各学科 4名 + 上級生
学科特性に合わせた専門講師 2名
1年生には 2年生
2年生には 3年生がメンターとなる



「未来思考型PBL学習プログラム」

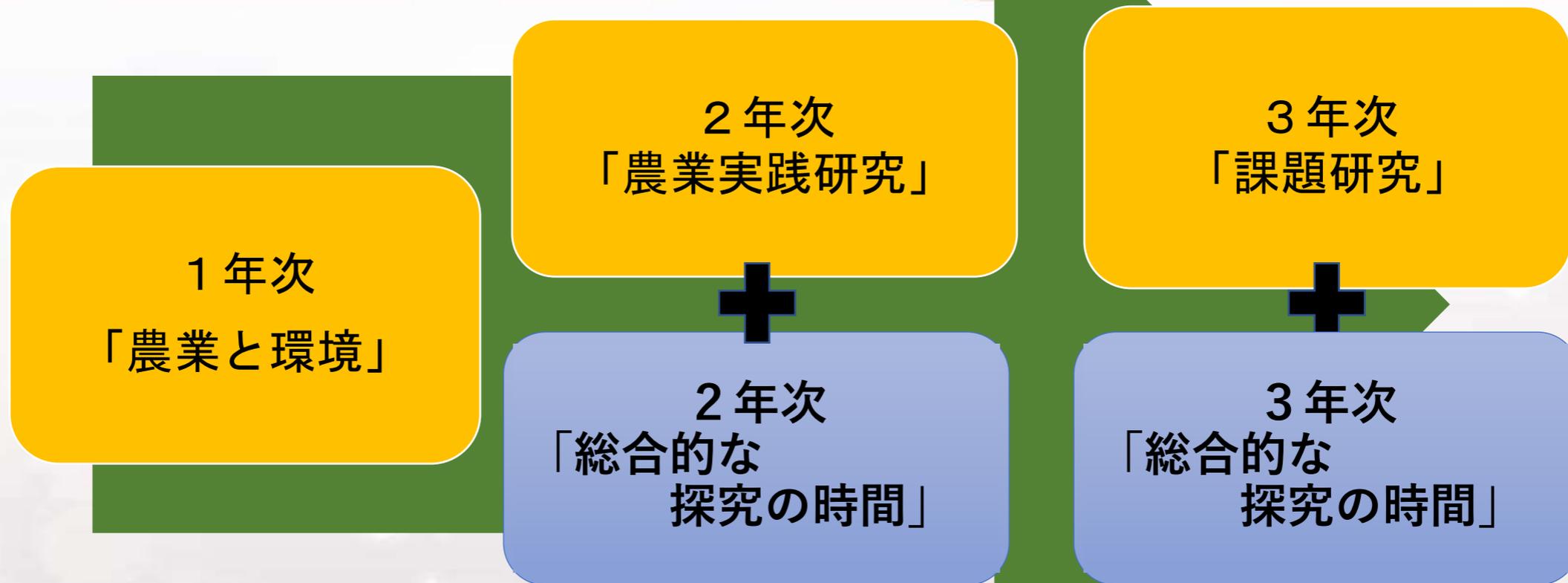
未来思考型課題発見解決型学習の実践

「未来思考型PBL」展開イメージ



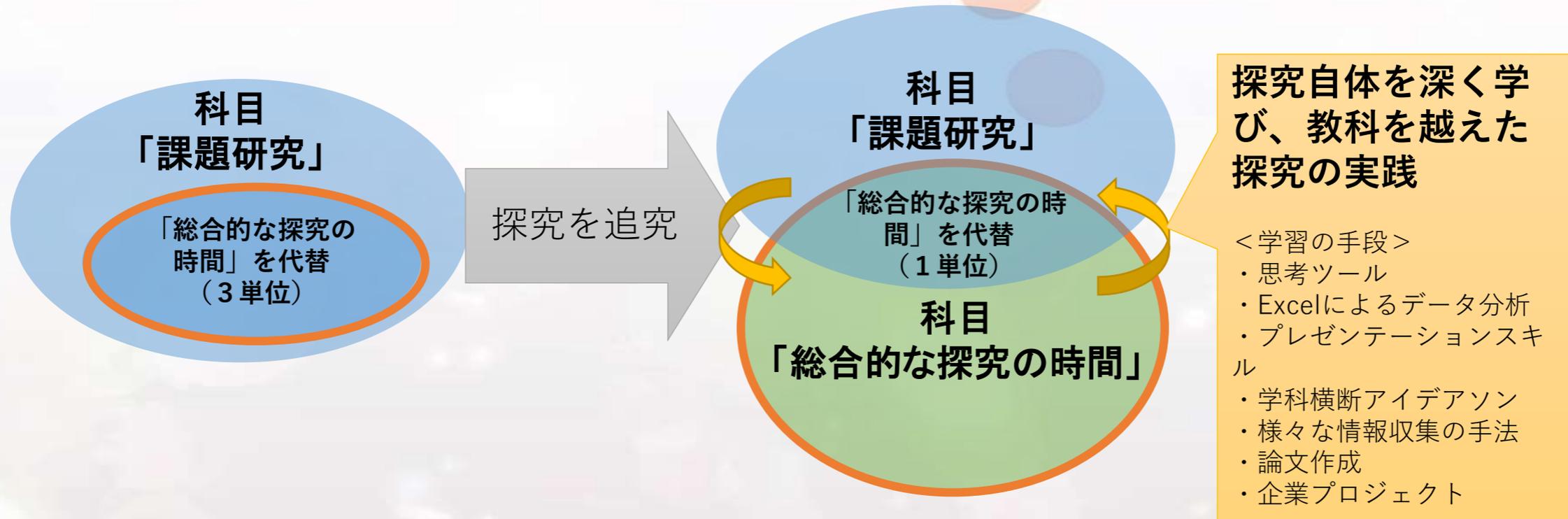
「未来思考型PBL学習プログラム」

カリキュラムの刷新



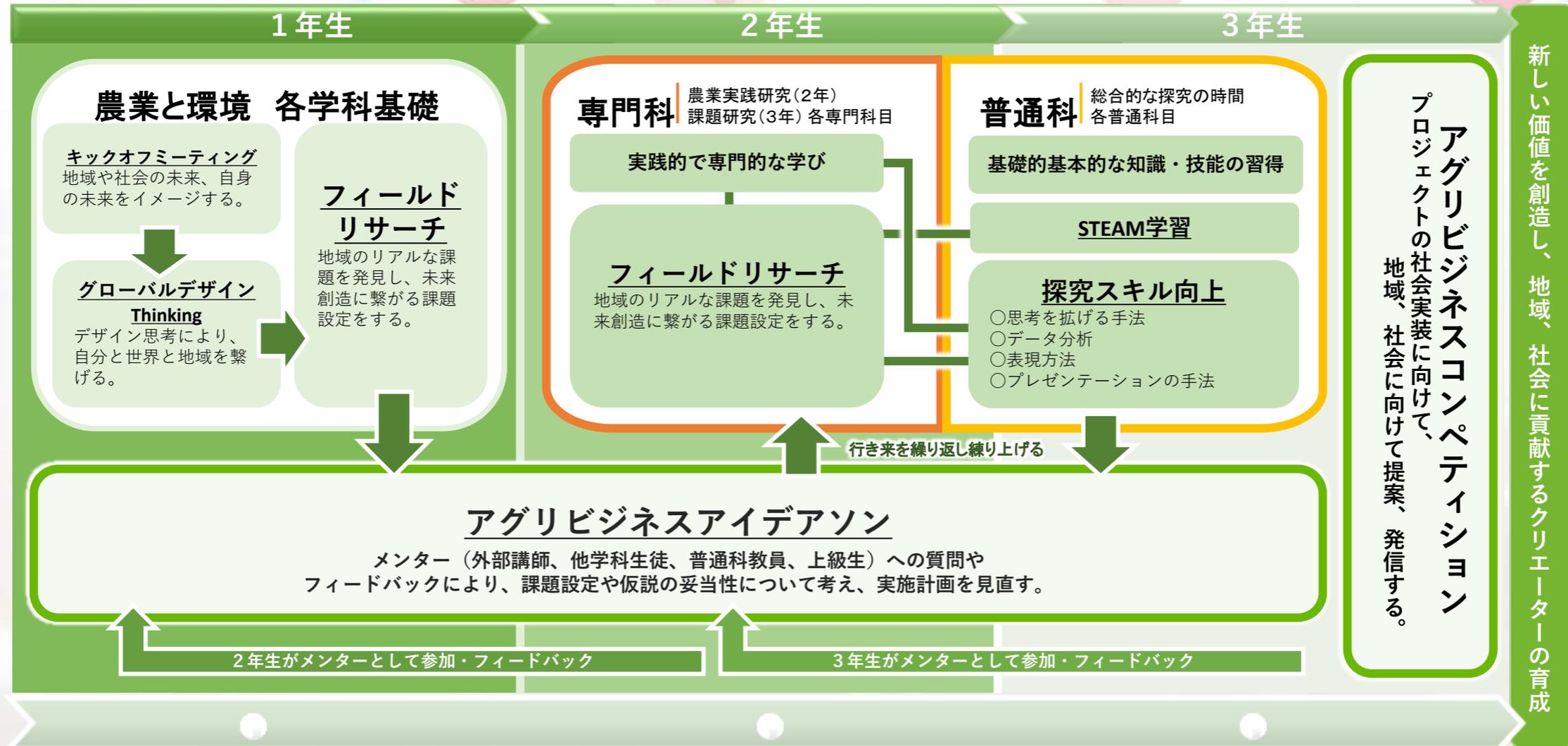
「未来思考型PBL学習プログラム」

カリキュラムの刷新



「未来思考型PBL学習プログラム」

未来思考型PBL ～持続可能な社会・地域のために、私たちは庄原にどのように関わるべきか～



自分を知り、地域を知り、未来を見る。
探究の「プロセス」を知る。

探究の「目」を拓げ「質」を高める。PBLを各教科の学習に生かす。
各教科の学習をPBLに生かす。

未来創造に向けた探究を深める。
繰り返す。提案する。

「未来思考型PBL学習プログラム」

学科	類型	研究室	プロジェクト課題名
生物生産学科	通類 園芸流	作物園芸研究室	リンゴの選定枝を活かした、こだわり米づくり
		果樹園芸研究室	香港消費者に向けたナシの生産から輸出
	動物生産類型	小中家畜経営研究室	シロアリソルジャーがニワトリの消化器官に及ぼす影響
			平飼卵の流通
		酪農経営研究室	乳牛の三元交雑種の作出
			牛舎の暑熱対策
肉用牛経営研究室	和牛の調教		
食品工学科	学類 生物工	微生物利用研究室	天然酵母を使ったパンの製造
		植物バイオテクノロジー研究室	庄原市の絶滅危惧植物の増殖
	食品製造類型	食品マネジメント研究室	『野菜を使った商品開発』～パウンドケーキ～
			庄実のスポンジケーキを復活
			庄原実業の果物を使ったグリッシーニの商品開発
	食品化学研究室	『ジビエを用いた特産品の開発』～庄原開拓～	
		『庄原の特産品の開発』～トマトを用いたミネストローネの開発～	
		『庄原の特産品の開発』～リンゴを用いた菓子の開発～	
環境工学科	環境開発	農業基盤創生研究室	放置された土地を利用して憩いの場をつくる
		農村環境創生研究室	ホタルを増やし、人を集め、庄原のことを知ってもらう！ 農林業体験で人を繋ぐ
	環境保全類	里山環境科学研究室	古民家材で再生家具をつくる！ 自然を活かしたアスレチック
		持続型農業研究室	ウルシの栽培研究～国産ウルシの生産量増加を目標とし、様々な栽培方法を模索している。～ 激辛トウガラシで庄原をアツくする！
		食農文化教育研究室	栄養満点！とろけるプリン 子どもたちの食生活をサポートする
生活科学科	型 両類	地域社会福祉研究室	オリジナルレクリエーションで高齢者を元気に！ 香りで癒しの空間を提供する

3年生 27テーマ

「未来思考型PBL学習プログラム」

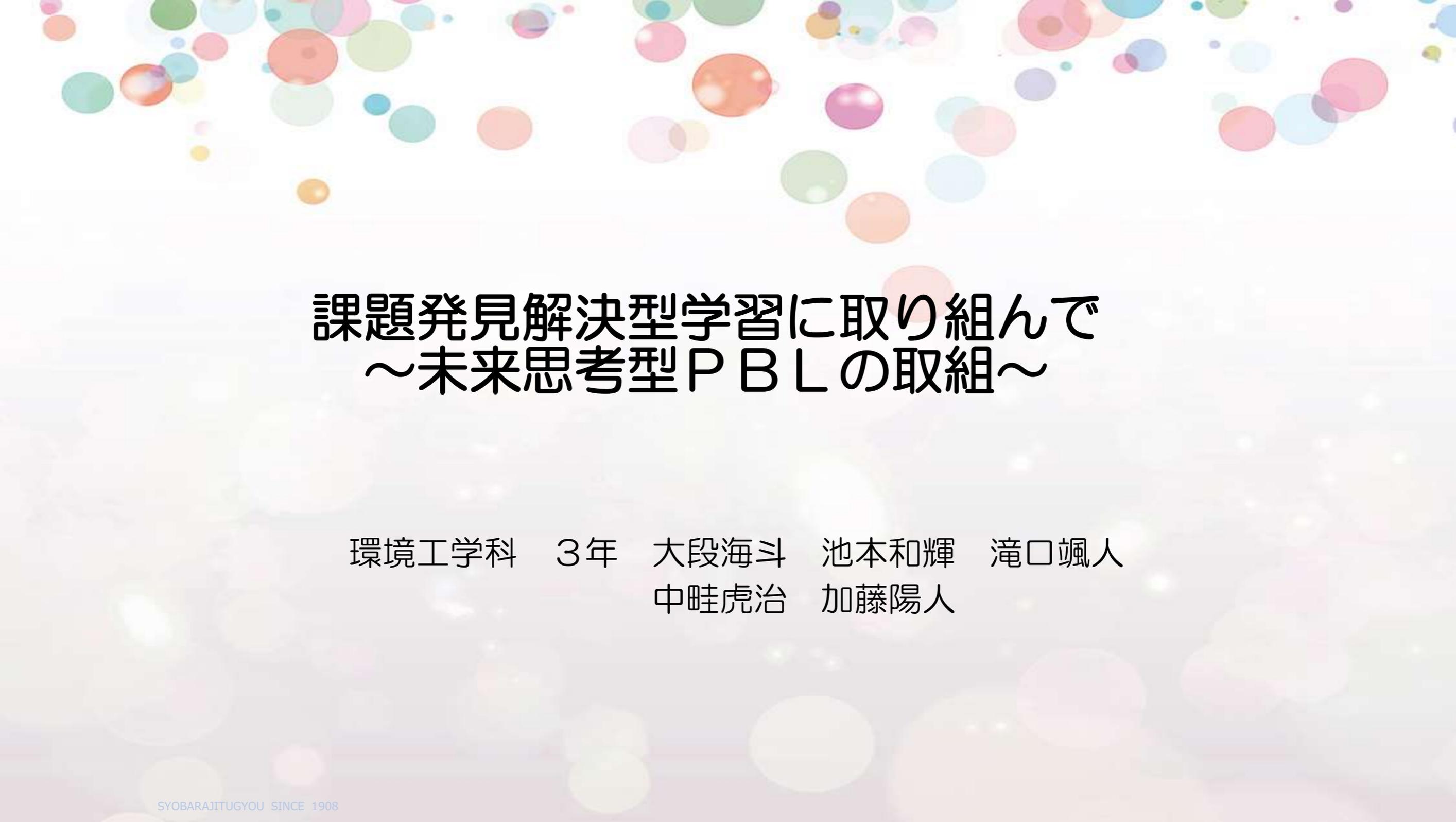
学科	類型	研究室	プロジェクト課題名
生物生産学科	園芸流通類 型	作物研究室	有機栽培で庄原の米の評価を高める
		野菜研究室	庄原野菜を有名に
		果樹園芸研究室	ナシ果皮の機能性評価および輸出時の課題解決に関する研究
	動物生産 類型	酪農経営研究室	10年後の庄原の農業に活気を！！ 不耕起栽培に挑戦
		肉用牛経営研究室	肥育牛の放牧
食品工学科	生物学 類型	微生物利用研究室	天然酵母パン, 小豆の無菌播種, 組織培養
		植物バイオテクノロジー研究室	ジビエバーガーで地域活性化
	食品製造 類型	食品マネジメント研究室 食品化学研究室	西城町の夏イチゴを使ったスイーツを作る チーズの加工品を庄原の特産品に！
環境工学科	環境開発 類型	農業基盤創生研究室	”GAKUSAI” マルシェ in Shobara station～若者たくさんの都市に向けて～
		農村環境創生研究室	西城川で新たな観光名所を！
	環境保全 類型	里山環境科学研究室	耕作放棄地を利用してスパイス作り～庄原を健康の町に～ 地域資源を使って庄原の特産物をつくる！！
		持続型農業研究室	案山子が見守る小麦作り 竹炭で環境改善大作戦！
生活科学科	文化生活 類型	農村文化教育研究室	アップサイクル庄原
			衣服ロスを減らす
	両類型	食農文化教育研究室	ウキウキ献立
			庄原りんごで地域活性化
福祉生活 類型	児童文化教育研究室	木くずで庄原の笑顔を増やす	
		地域社会福祉研究室	ハンドケアで健康を手に入れよう

2年生 22テーマ

「未来思考型PBL学習プログラム」

1年生 28テーマ

学科	類型	プロジェクト課題名
生物生産学科	園芸流通 類型	動物骨を堆肥に、庄原野菜作り
		ジョイント栽培で、お年寄りに優しい梨づくり
		廃棄梨・リンゴを活用した庄原循環プロジェクト
	動物生産 類型	マッスルチキンで、庄原を元気に
		牛の暑さ・寒さ対策で、未来の庄原を救う
		牛肉の品質向上で、比婆牛を救う
食品工学科	生物工学類 型	災害に備えた保存食を作ろう
		お米を使ったピザ
		リンゴで庄原を頂点に！！
		米粉で庄原を元気に
	食品製造類 型	高野リンゴでアップルレザーを作る
		庄原の魅力を伝えよう
		万能リンゴソースで食卓を豊かに
		庄原のチーズと野菜を使ったピザ作り
環境工学科	環境開発類 型	都市計画 学園通りをきれいにしよう
		緑を活かした住環境整備
		田んぼアートを世界へ
		水環境の整備
	環境保全類 型	廃材を活かした木細工
		庄原市産の木材活用
		耕作放棄地の再利用
		竹サウナで放置竹林を解消する
生活科学科	生活文化 類型	サステナブル大作戦！！
		庄原の牛乳とはちみつで輝やきを！！
		カルタ De Let's Learning About 庄原
	生活福祉 類型	高齢者の方向けいきいき健康教室のススメ
		介護の魅力お伝えしますプロジェクト！(その1)
		介護の魅力お伝えしますプロジェクト！(その2)



課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～

環境工学科 3年 大段海斗 池本和輝 滝口颯人
中畦虎治 加藤陽人

どんな庄原市に？

- 「庄原と言えばこれ！」という**特産品**がある
- 「庄原っていいよね」と言って訪れる人がたくさんいる
- 人間と自然がバランスよく**共存**している
- 住んでいる人が庄原に住み続けたいと思う**先進都市**である

課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～

害獣駆除のために
ジビエ丼にしよう！



耕作放棄地で
特産品をつくろう！



コラボレーション



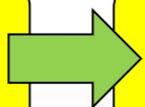
課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～

フィールドリサーチ先 吉岡香辛料研究所 所長 吉岡 紘 様



課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～

当初のテーマ
「獣害対策」



次のテーマ
「トウガラシ栽培による地域の耕作放棄地の活用」



仮説検証のためのシミュレーションを校内の畑で実施
キャロライナリーパーの栽培

私たちのvision

- 耕作放棄地で有機栽培による特産品を作る
- ↓
- 有機農業の取組面積日本一
- ↓
- 庄原市が有機農業先進都市になる

課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～

激辛 トウガラシで 庄原をアツく!!

～不耕起リター農法確立に挑戦!!～



環境工学科 3年

大段海斗 池本和輝 滝口颯人

中畦虎治 加藤陽人

課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～
令和4年度の栽培の成果



課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～

商品開発

あまから～！！



激辛チョコレート

今までにない
トウガラシ特産品は
なにがいいのかあ～

街と畑を むすぶマルシャ
主催：一般社団法人むすぶ広島

課題発見解決型学習に取り組んで ~未来思考型PBLの取組~



トウガラシの 有機生産 日本一!!



課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～

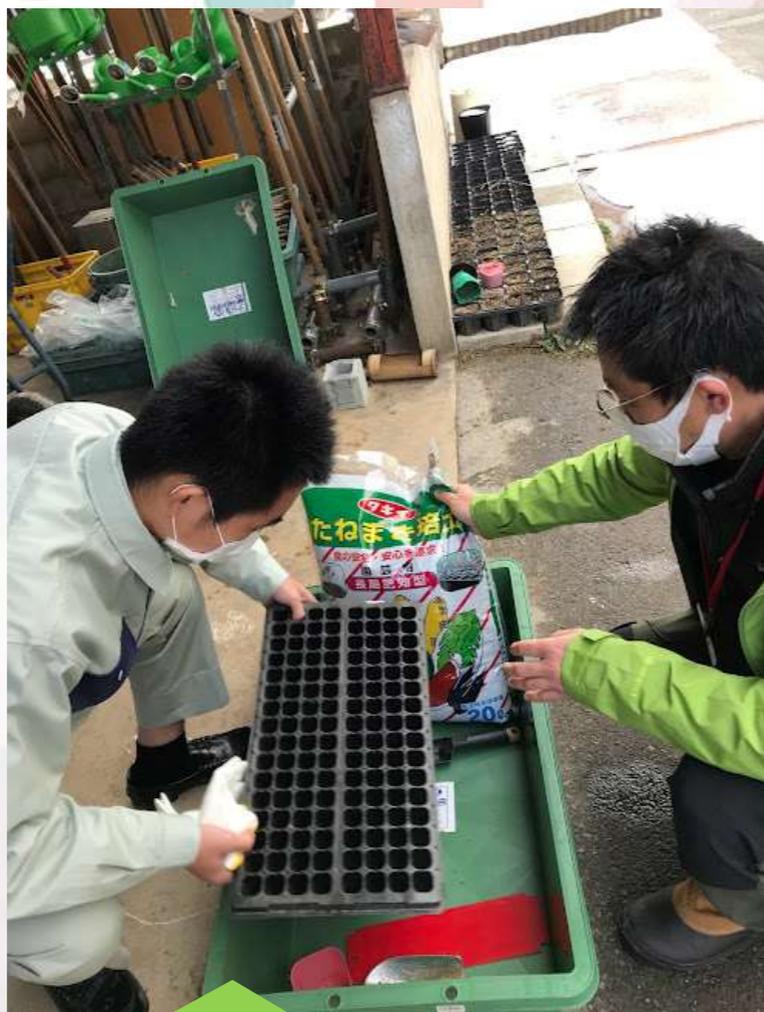


1年時の成果発表会

オンラインでの質問にも
なんとか答えることができました。



課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～



栽培方法を指導していただきました。

定期的に見直しをしながら取り組みました。



課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～

吉岡さんを中心に記念写真



課題発見解決型学習に取り組んで ～未来思考型PBLの取組～

株式会社庄原市農林振興公社

ログイン

メニュー

ホーム

農林振興公社は

エゴマ商品 ▾

問合せ&注文

庄原市では高齢化などにより、農業にも大きな改革が求められています。
次世代につなげる、輝ける農業を推進するため、
地産の農作物の販売応援及び農作業全般の振興を目的に
活動しています。

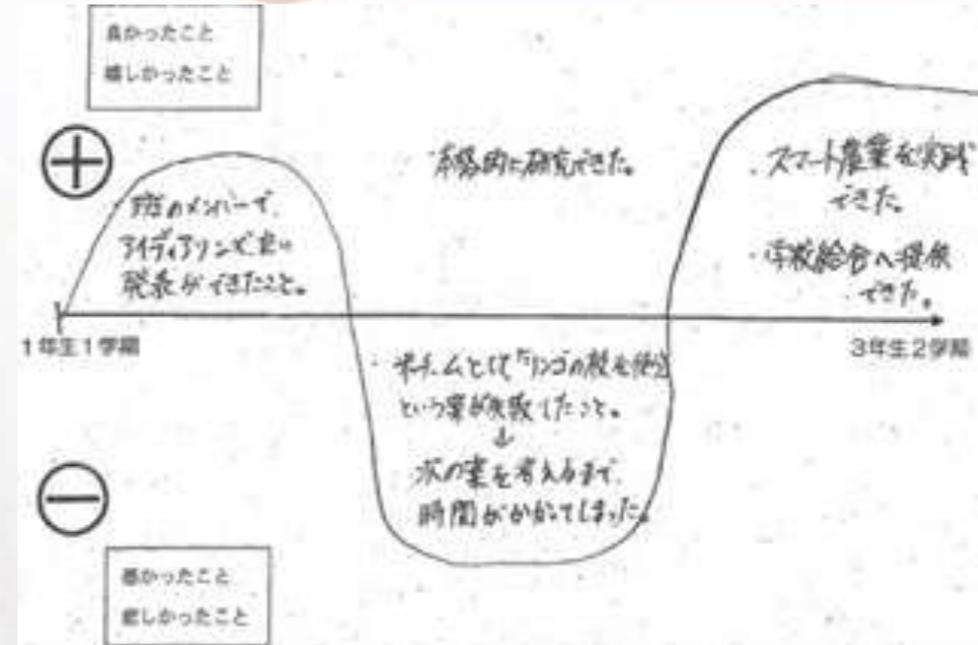
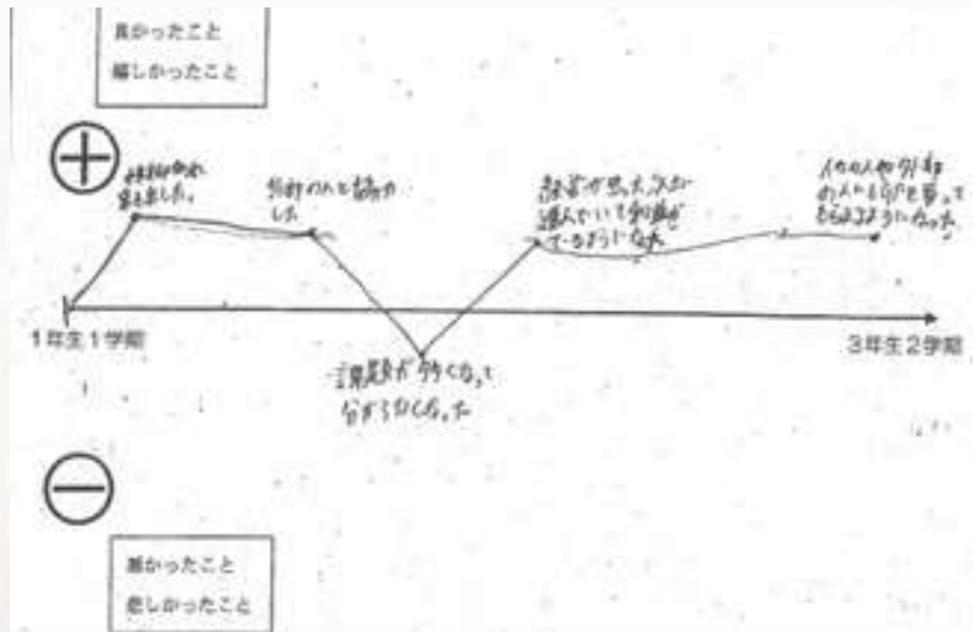


■ 当社は

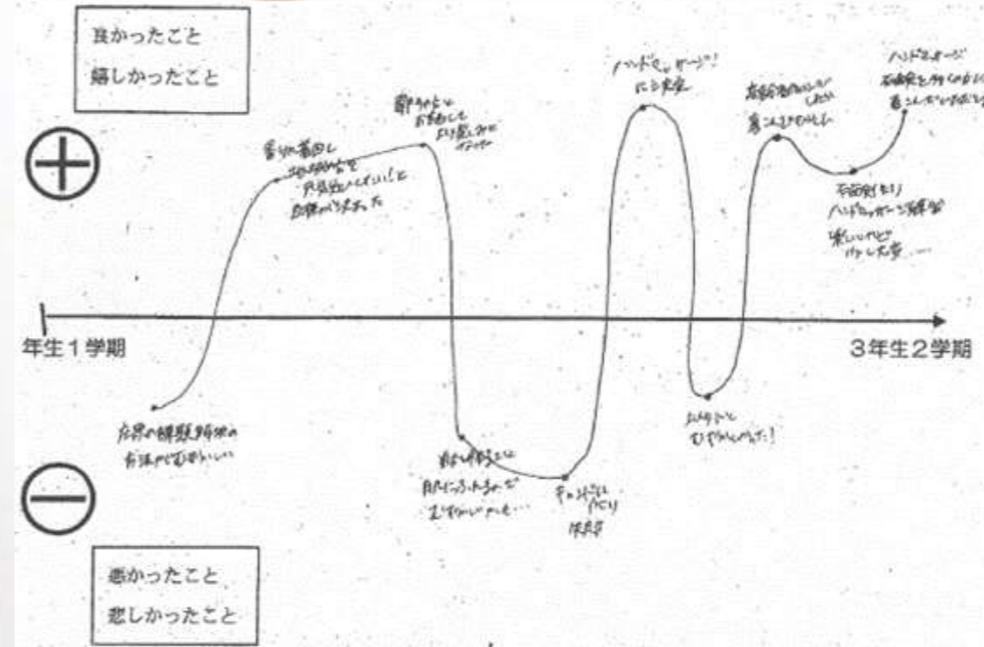
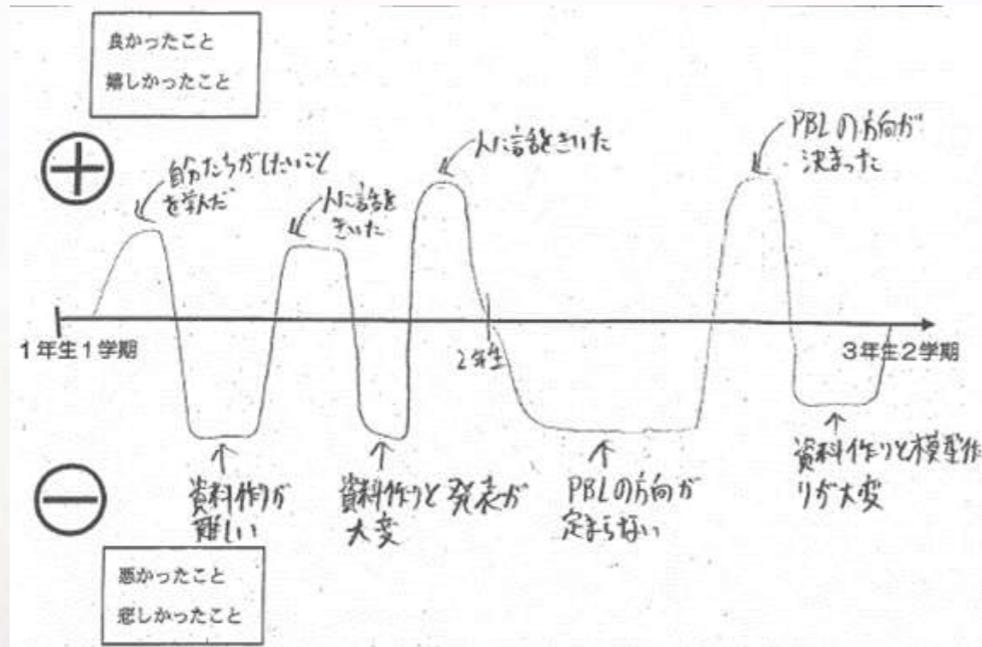
庄原市が進める農業振興計画
(農業が支える定住社会の構築～
次代につなぐ輝く農業～)を推進
するために、地産の農作物の販売
応援及び農作業全般の手助け等
農林業振興に資する事業をしてい
ます。

引用: 株式会社庄原市農林振興公社 <https://shobara-nourin.jp/>

「未来思考型PBL学習プログラム」



「未来思考型PBL学習プログラム」



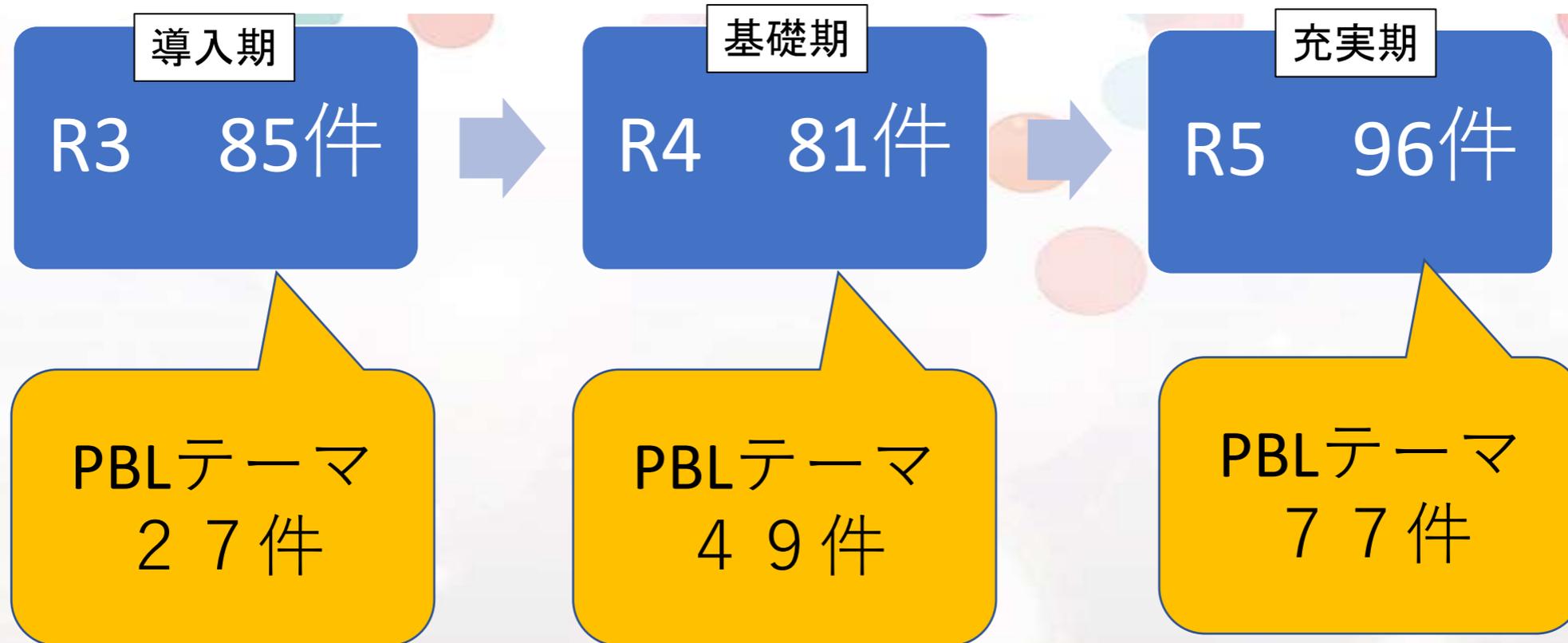
「未来思考型PBL学習プログラム」

未来思考型PBLの3年間の歩み



「未来思考型PBL学習プログラム」

未来思考型PBL運営課題



R5全校生徒数: 268名

生徒3.5名で1つのテーマに取り組む

専門科目教員数: 18名

教員一人当たり4.2テーマを担当する

産学官連携推進のためのルールブック高校生版（仮）



庄原実業
産学連携・地域協
働ガイドブック2023

令和5年12月12日

令和5年10月17日 第4回ワークショップ

第3回ワークショップ

令和5年9月4日
第2回ワークショップ

令和5年8月7日
第1回ワーク
ショップ



山口大学 大学研究推進機構
知的財産センター
准教授 陳内 秀樹

カリキュラムの刷新 産学官一体キャリアモデルの開発



庄原小学校との交流
(イネ栽培)

令和5年5月18日
令和5年9月22日
令和5年12月8日



庄原保育所との交流
(サツマイモ栽培)

令和5年6月6日
令和5年10月12日



SYOBARAJITUGYOU SINCE 1908



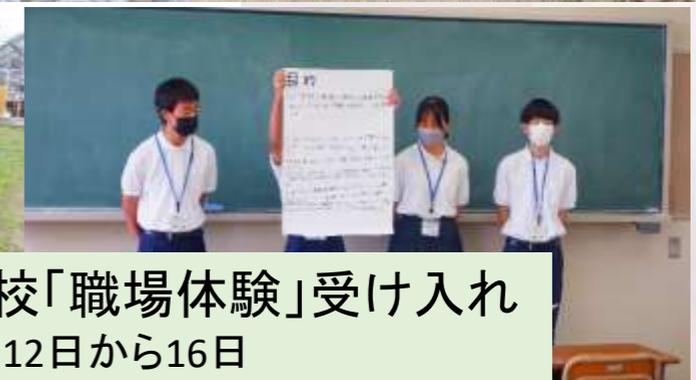
高小学校との交流
(牛の飼育)
令和5年12月5日



庄原特別支援学校中学部との交流
(比婆牛の飼育)
令和5年7月7日



庄原中学校「職場体験」受け入れ
令和5年6月12日から16日



地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

外部環境

外部人材の活用

産業実務家教員の活用

**地域の企業での実習
～先端的な農業実習をとおして～**

《谷口産業実務家教員の役割》

園芸作物の生産に関する指導
最先端の農業機械のデモンストレーション
農業経営に係る指導
ドローンの活用に係る指導



産業実務家教員

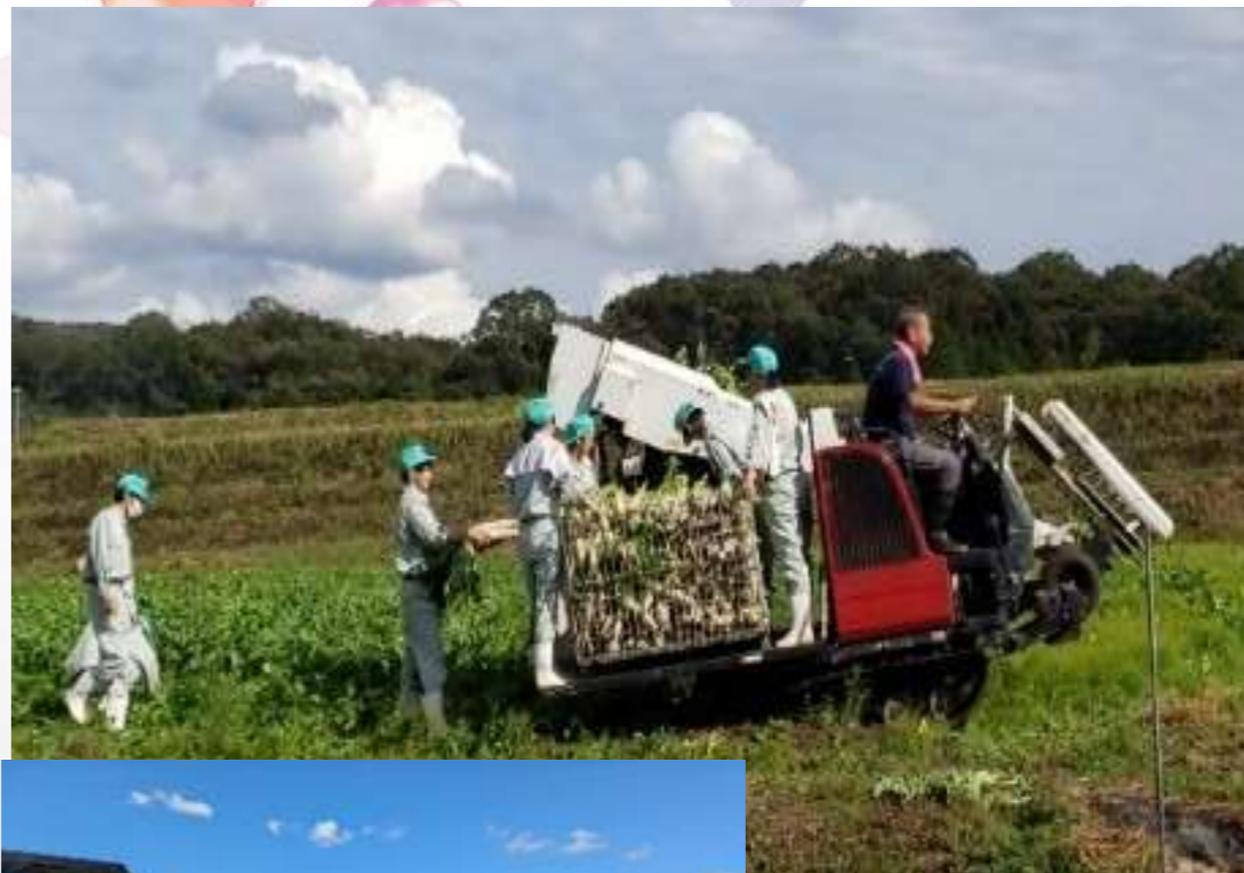
株式会社 v e g e t a

代表取締役 谷口 浩一 氏

◆指導科目

生物生産学科	第1学年	科目「生物生産学基礎」	(2単位)
生物生産学科	第2学年	科目「農業実践研究」	(2単位)
生物生産学科	第3学年	科目「課題研究」	(3単位)

地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～



地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～



地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

「スマート田植え機による実習(自動操舵機能付き田植え機)」



令和4年5月27日(金)・令和5年5月19日(金)

生物生産学科2年 科目「農業実践研究」

地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

「伝統的な農業と先端的な農業を同時に学習」



先端的な農業



伝統的な農業



地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

「ラジコン草刈機による畦畔管理実習」



令和4年6月17日（金） 生物生産学科2年 科目「農業実践研究」

地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

「デントコーン収穫実習」



SYOBARAJITUGYOU SINCE 1908

令和5年10月12日(金)・19日(木) 生物生産学科2年 科目「農業実践研究」・科目「畜産」

地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

(株) vegetaの農場 大根の収穫、調整実習

《プロジェクトテーマ》

学校給食用野菜の地産地消に挑戦

～スマート農業で耕作放棄地を宝の山に！！～



地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

(株) vegeta農場
《プロジェクトテーマ》

学校給食用野菜の地産地消に挑戦

～スマート農業で耕作放棄地を宝の山に！！～

R5年1月23日に発売された農業用ドローン最新機種「Agras T30」（ドローン大手メーカーDJI）の実物が飛んでいる様子



谷口先生から組み立て方等の説明を受けている様子



谷口先生から操縦について御指導いただいている様子

地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

(株) vegeta農場
《プロジェクトテーマ》

学校給食用野菜の地産地消に挑戦

～スマート農業で耕作放棄地を宝の山に！！～



令和5年9月13日 マルチ張り実習



令和5年11月1日から12月13日
収穫・学校給食へ納品



令和5年9月20日 種まき実習



地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

○3年間の実習から学んだこと

○人の手による技術が大切

中山間地域の地理的な課題の解決や生食野菜などの品質の向上には、いずれも人の手（技術）が大切



地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

○3年間の実習から学んだこと



省力化を図る
スマート機器が必要



スマート農業とは？導入事例と今後の課題 | 農業ジョブ (agrijob.jp)



スマート農業360 | ICTやIoTなどのセンシング技術を駆使して農業現場を『見える化』するメディア (smartnogyo.com)

地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～ 受業の 良さ

- ・ **外部の圃場**でプロジェクト学習ができる。

デュアル派遣実習
インターンシップ

受け入れ先での実習

産業実務家教員の圃場

自主的なプロジェクト学
習



地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

○庄原実業で続けて欲しい授業



スマート農業で庄原市の
農業を支える



stock.adobe.com) smart farming, agriculture industry technology concept, farmer using tablet to control in planting, farm, with high technology to monitor, check, control for best performance, efficiency, high profit
作成者 Monopoly919

令和5年度産業実務家教員による第1学年「生物生産学基礎」実施計画

対象学科・学年	生物生産学科 第1学年			
科目	生物生産学基礎			
担当教諭	生物生産学科教諭			
実証期間	令和5年4月から令和6年3月			
実証授業時数	64時間（2時間×32日）			
対象	生物生産学科 第1学年 23名			
本事業における重点目標	産業実務家の企業的な農業経営について体験的に学び、産業実務家自身のアントレプレナーシップ（起業家精神）に触れることで、地域の担い手として農業経営を学ぶことの重要性に気付かせる。			
学習形態	部門実習 農業生産に係る野菜部門の実習を体験的に学習する。			
学習成果物	成果物（実習報告書、プロジェクト学習ワークシートなど）			
シラバスに示した到達目標	生物生産学科の学習内容を理解するとともに、学科で学ぶことのできる学習に関して主体的に行動できる態度と高度な資格取得のための基礎知識を身に付けること。			
評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
産業実務家教員の授業における評価規準	生物生産学科で学習する農畜産物の生産について、基礎的・基本的な知識と技術を習得している。	生物生産学科で学習する農畜産物の生産過程から、課題を発見することができる。	生物生産学科で学習する農畜産物の生産に係わる学習に主体的かつ協働的に取り組むことができ、社会に貢献する意欲と態度を身に付け、職業人に求められる倫理観を身に付けている。	
項目	学習タイトル	実施日時	学習活動	本時の目標
ガイダンス	生物生産学基礎について	令和5年4月17日	科目の内容説明、安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目の概要と科目で目指す姿について理解する。 ・実習時の正しい服装と実習にむかう姿勢を知る。
サツマイモ栽培（1）	交流学习準備	令和5年5月1日	交流学习についての説明、説明用資料の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学习の概要を理解する。 ・園児に分かりやすい説明方法を考える。
サツマイモ栽培（2）	交流学习準備	令和5年5月8日	畝立て、マルチング	<ul style="list-style-type: none"> ・畝立てとマルチングの効果について理解する。 ・サツマイモ栽培に適した畝づくりを考え、実践することができる。
サツマイモ栽培（3）	交流学习準備	令和5年5月22日	説明用模造紙作成	<ul style="list-style-type: none"> ・園児にわかりやすい模造紙について、グループで協議し、表現する。
サツマイモ栽培（4）	交流学习準備	令和5年5月23日	説明用資料の作成、発表練習	<ul style="list-style-type: none"> ・園児に分かりやすい説明となるよう、グループで協議し、模造紙に表現する。
サツマイモ栽培（5）	庄原保育所との交流学习①	令和5年6月6日	庄原保育所との交流学习、サツマイモの植え付け	<ul style="list-style-type: none"> ・園児と適切なコミュニケーションをとりながら、サツマイモの特徴について説明することができる。
サツマイモ栽培（5）	交流学习事後	令和5年6月6日	サツマイモの栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学习後のサツマイモの栽培管理についての知識を身に付ける。

地域の企業での実習 ～先端的な農業実習をとおして～

課題

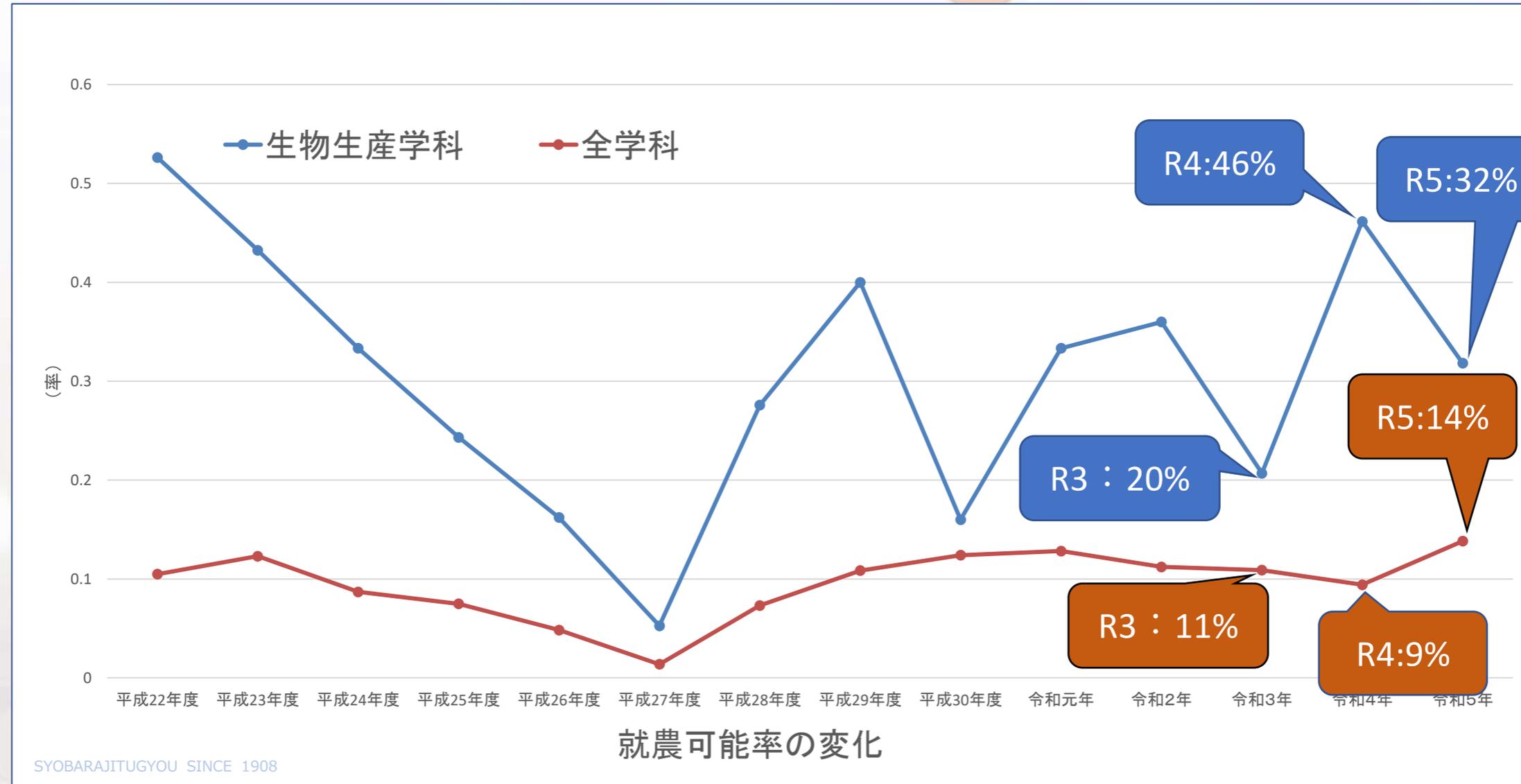
- 1 実習地までの交通手段及び移動費
- 2 天候に応じた授業の実施
- 3 最新機械の校内農場持ち込みの際の移動費



事業評価

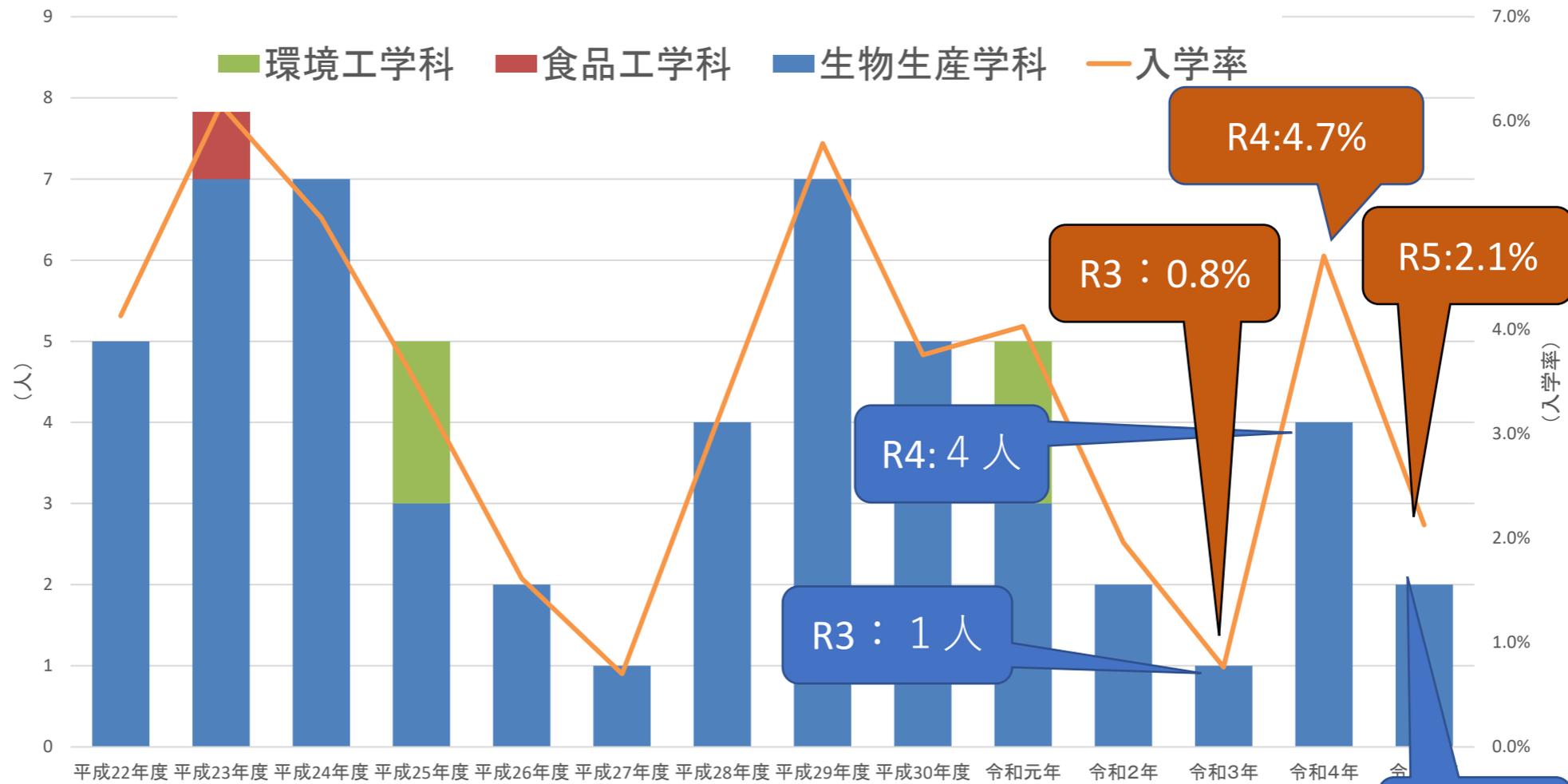
事業評価（基本目標）

	令和元年度	令和5年度
就農可能率〔%〕	11.2	15.0
農業技術大学校への進学者数〔人〕	5	7
農業関連学部への進学者数〔人〕	2	3



事業評価（基本目標）

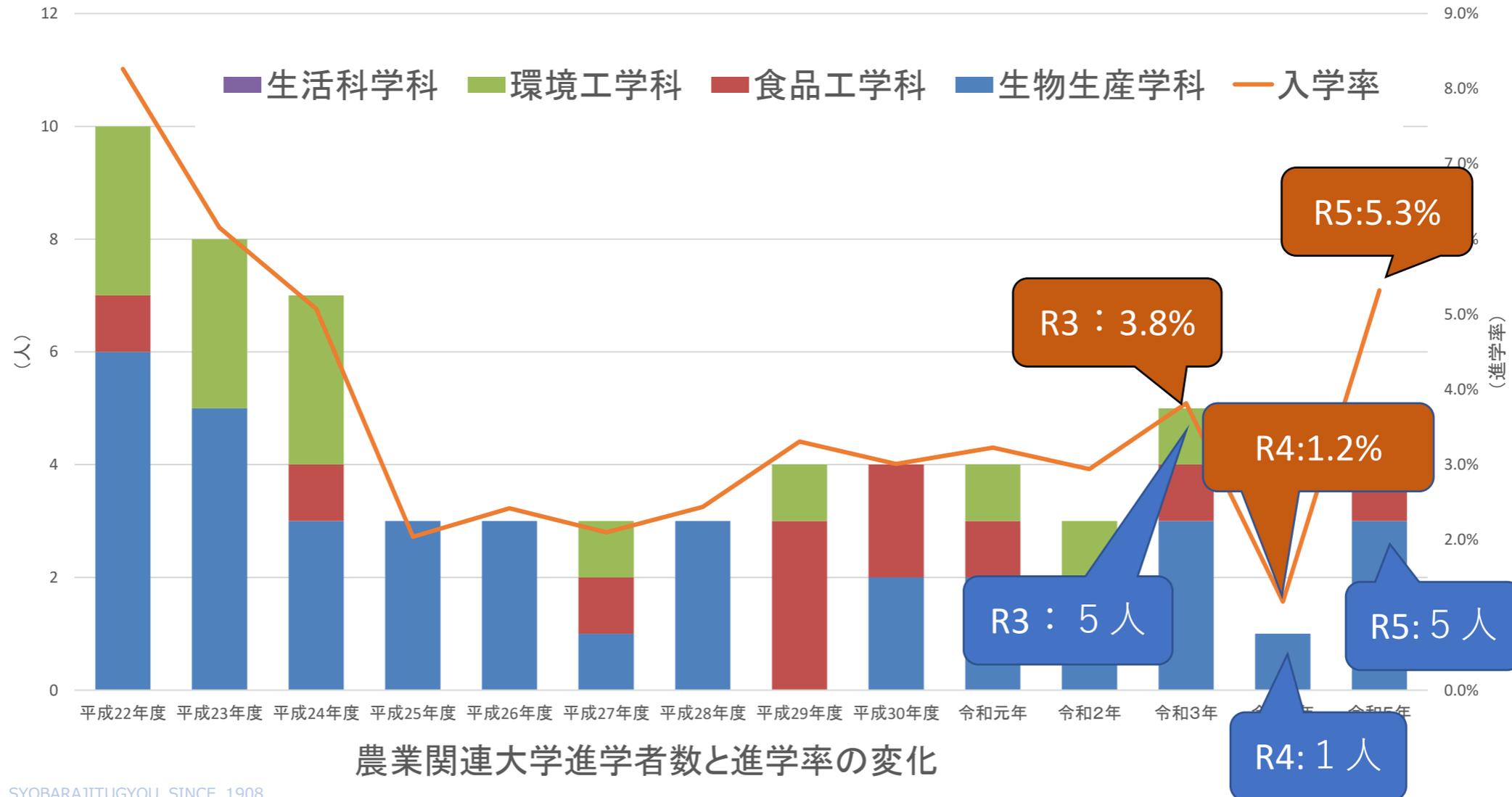
	令和元年度	令和5年度
就農可能率〔%〕	11.2	15.0
農業技術大学校への進学者数〔人〕	5	7
農業関連学部への進学者数〔人〕	2	3



農業技術大学校進学者数と入学率の変化

事業評価（基本目標）

	令和元年度	令和5年度
就農可能率〔%〕	11.2	15.0
農業技術大学校への進学者数〔人〕	5	7
農業関連学部への進学者数〔人〕	2	3



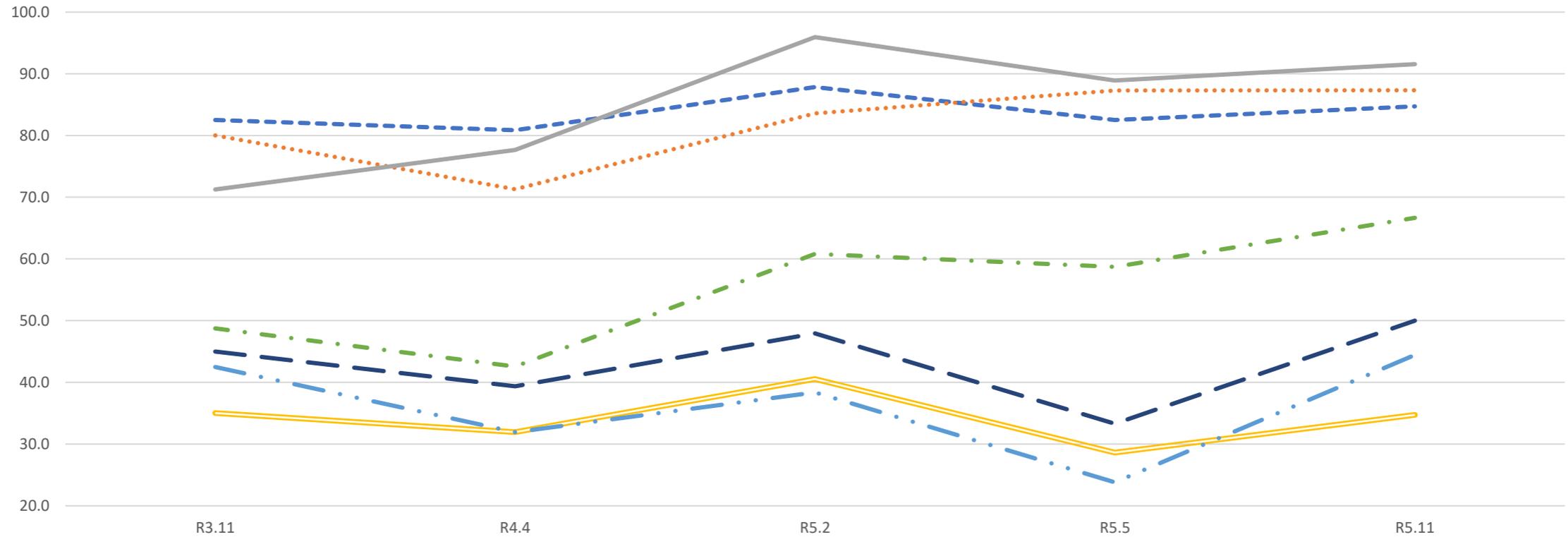
定性的評価					定量的評価				
項目	目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	項目	目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値
「将来、県北地域の農業を成長させるためのアイデアがある」と回答した生徒の割合	35%	28%	31%	35%	FFJ検定上級取得者数	40%	56%	66%	63%
「自分の力で未来を創ることができると思う」と回答した生徒の割合	50%	43%	44%	50%	アグリマイスター顕彰プラチナ取得者数	4名以上	2名	0名	0名

質問項目	R3. 11実施	R5. 11実施	変容
県北地域が好きである。	78.0	78.4	+0.4
県北地域の良さや価値を理解している。	76.6	78.8	+2.2
県北地域の課題を理解している。	72.0	84.8	+12.8
将来、県北地域の農業を成長させるためのアイデアがある。	27.6	29.8	+2.2
将来、自分自身で県北地域の課題解決に貢献することができると思う。	35.7	40.6	+4.9
10年後の未来がどのようなようになっていくかについて想像できる。	46.2	55.5	+9.3
自分の力で未来を創ることができると思う。	43.0	32.1	-10.9

質問項目	R3. 11	R4. 4	R5. 2	R5. 5	R5. 11
県北地域（三次市、庄原市）が好きである。	82.5	80.9	87.8	82.5	84.7
県北地域の良さや価値を理解している。	80.0	71.3	83.6	87.3	87.3
県北地域の課題を理解している。	71.3	77.7	95.9	88.9	91.5
将来、県北地域の農業を成長させるためのアイデアがある。	35.0	31.9	40.5	28.6	34.7
将来、自分自身で県北地域の課題解決に貢献することができると思う。	42.5	31.9	38.4	23.8	44.4
10年後の未来がどのようなようになっていくかについて想像できる。	48.8	42.6	60.8	58.7	66.7
自分の力で未来を創ることができると思う。	45.0	39.4	47.9	33.3	50.0

R3入学生：n=93名

令和3年度入学生の変容

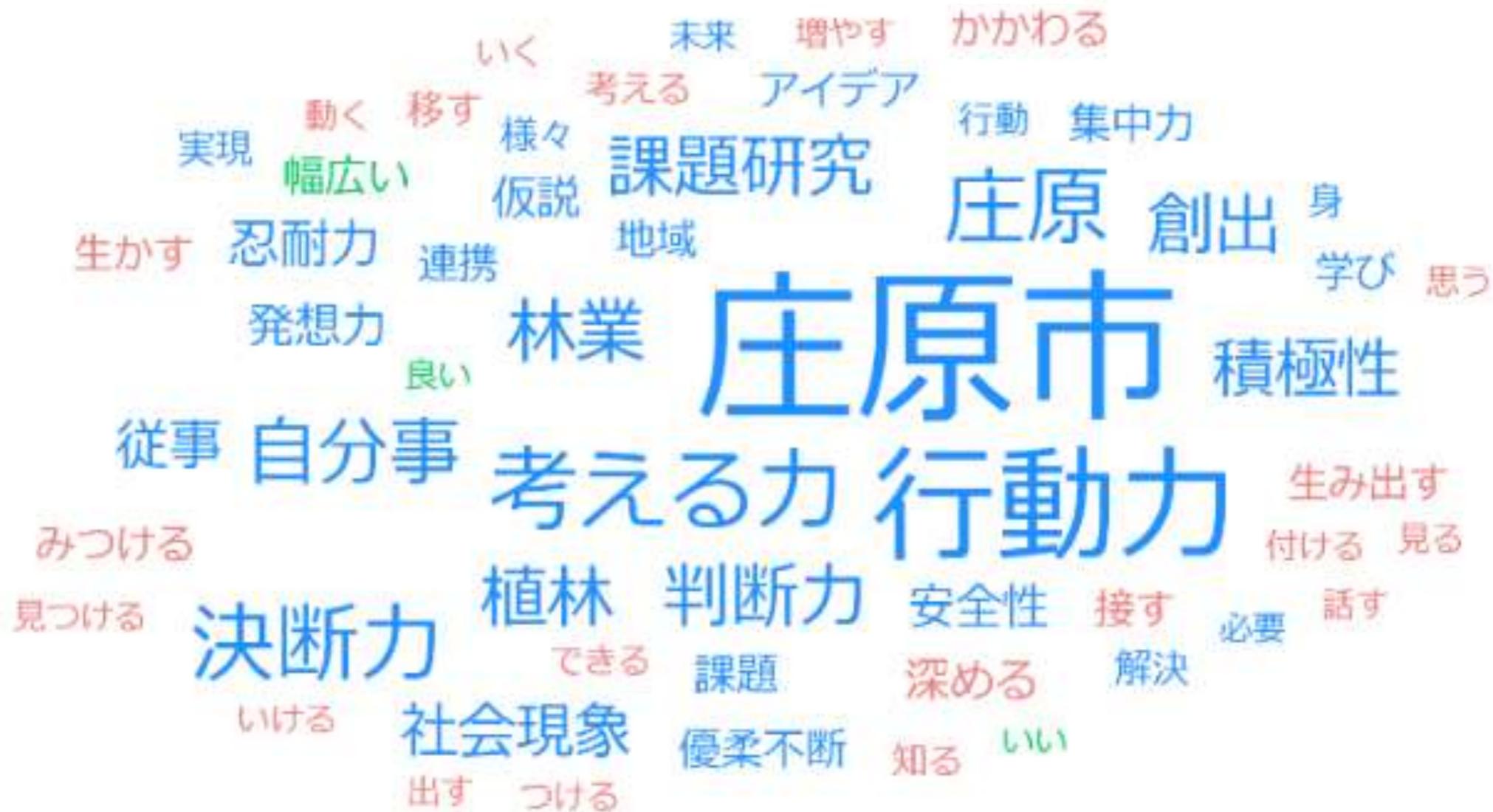


- ① 県北地域（三次市，庄原市等）が好きである。
- ② 県北地域の良さや価値を理解している。
- ③ 県北地域の課題を理解している。
- ④ 将来，県北地域の農業を成長させるためのアイデアがある。
- - - ⑤ 将来，自分自身で県北地域の課題解決に貢献することができると思う。
- · - · ⑥ 10年後の未来がどのように変わっていくかについて想像できる。
- · · ⑦ 自分の力で未来を創ることができると思う。

全学年 自由記述

「未来を創るために、今から自分が身に付けなければいけない力は何ですか。」

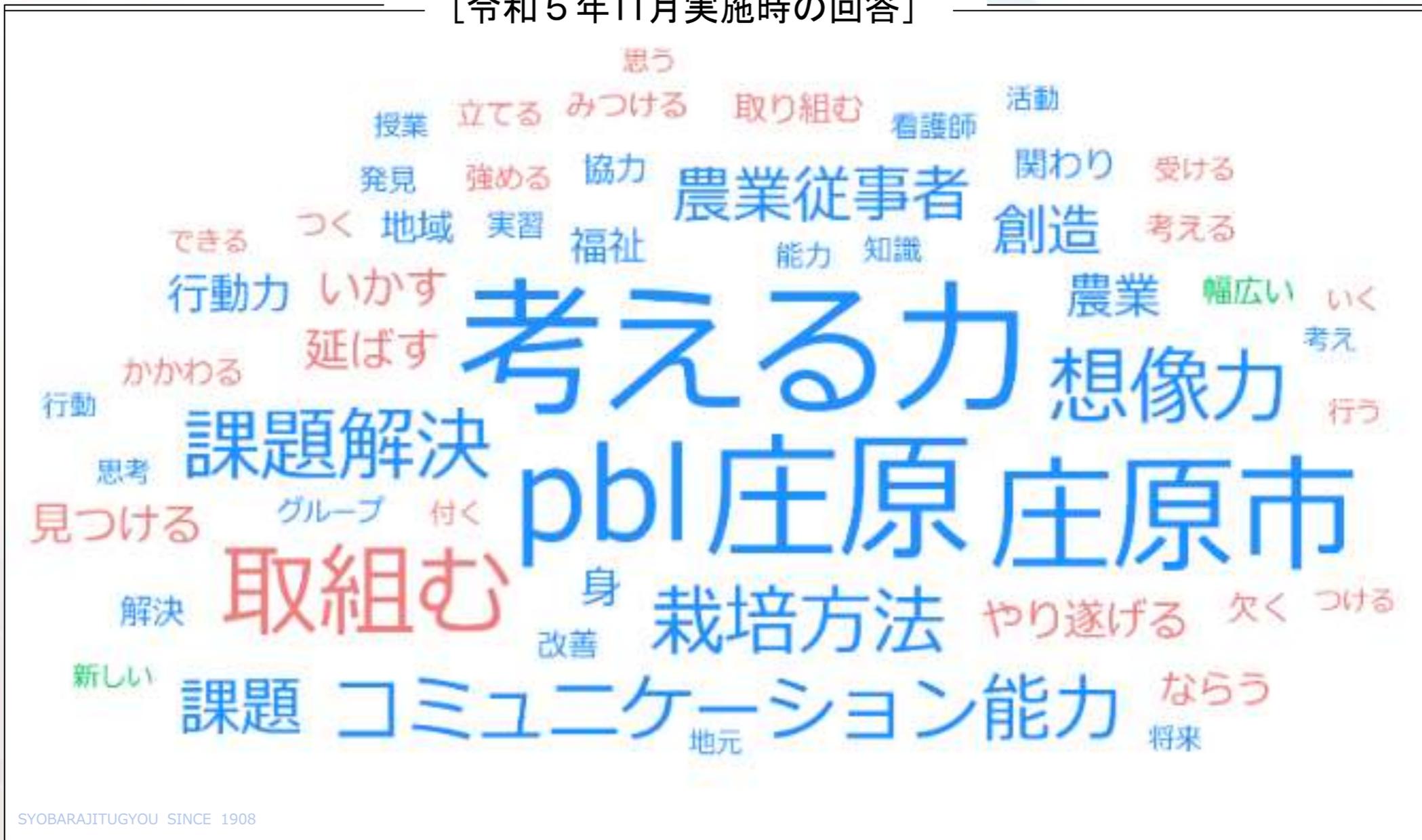
[令和5年11月実施時の回答]



全学年 自由記述

「庄原実業高校に入学して、未来を創るために身に付いた力は何だと思いますか。」

[令和5年11月実施時の回答]



事業評価（アウトプット評価）

	項目	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値
カリキュラム開発	産学官一体型の「学習プログラム」の開発に係る外部との協議	3回以上	5回	5回	5回
	産学官一体型キャリアモデル開発に係る外部との協議・実施	3回以上	1回	6回	8回
	教育課程の刷新に係る外部との協議	3回以上	2回	5回	5回
	マスタールーブリックを意識したシラバスの改訂	全学科	19科目	全学科	全学科
体制づくり	外部講師の活用時間数 産業実務家教育の活用時間数	100時間以上	105時間 40時間	121時間	174時間
	教科等横断的な授業の指導案数	8件	11案	9案	24案
	外部機関との共同研究数	各学科 1テーマ以上	9件	14件	29件
	「産学官連携推進ルールブック高校生版（仮）」の作成に係る協議	3回以上	—	2回	4回
	マイスター・ハイスクール推進会議の実施回数	2回／月	18回	31回	33回
	マイスター・ハイスクール事業に係る教職員研修	3回／年	—	3回	5回
	マイスター・ハイスクール事業に係る講演会実施回数	2回／年	1回	1回	1回

令和5年11月現在

「外部機関との共同した未来思考型PBL学習プログラム」

学科	類型	研究室	プロジェクト課題名
生物生産学科	園芸流通類型	作物園芸研究室	リンゴの選定枝を活かした、こだわり米づくり
		果樹園芸研究室	香港消費者に向けたナシの生産から輸出
	動物生産類型	小中家畜経営研究室	シロアリソルジャーがニワトリの消化器官に及ぼす影響
			平飼卵の流通
		酪農経営研究室	乳牛の三元交雑種の作出
			牛舎の暑熱対策
		肉用牛経営研究室	和牛の調教
			比婆牛の育成牛飼料マニュアルの作成

「外部機関との共同した未来思考型PBL学習プログラム」

学科	類型	研究室	プロジェクト課題名
環境工学科	環境開発類	農業基盤創生研究室	放置された土地を利用して憩いの場をつくる
		農村環境創生研究室	ホタルを増やし、人を集め、庄原のことを知ってもらおう！
			農林業体験で人を繋ぐ
	環境保全類型	里山環境科学研究室	古民家材で再生家具をつくる！
			自然を活かしたアスレチック
		持続型農業研究室	ウルシの栽培研究～国産ウルシの生産量増加を目標とし、様々な栽培方法を模索している。～
生活科学科	両類	食農文化教育研究室	栄養満点！とろけるプリン
			子どもたちの食生活をサポートする
	祉生活福類	地域社会福祉研究室	オリジナルレクリエーションで高齢者を元気に！
			香りで癒しの空間を提供する

「外部機関との共同した未来思考型PBL学習プログラム」

学科	類型	研究室	プロジェクト課題名
生物生産学科	園芸流通類型	作物研究室	有機栽培で庄原の米の評価を高める
		果樹園芸研究室	ナシ果皮の機能性評価および輸出時の課題解決に関する研究
			ナシ酢の開発
	産動物生類型	酪農経営研究室	不耕起栽培に挑戦
		肉用牛経営研究室	肥育牛の放牧
環境工学科	環境開発類型	農業基盤創生研究室	” GAKUSAI ” マルシェ in Shobara station～若者たくさんの都市に向けて～
		農村環境創生研究室	西城川で新たな観光名所を！
	環境保全類型	里山環境科学研究室	耕作放棄地を利用してスパイス作り ～庄原を健康の町に～
			地域資源を使って庄原の特産物をつくる！！
		持続型農業研究室	案山子が見守る小麦作り
			竹炭で環境改善大作戦！

1. 3年間の歩みの振り返り



The background features a light, airy aesthetic. The top portion is filled with a cluster of colorful, semi-transparent circles in shades of red, orange, green, blue, and pink. Below this, the background transitions into a soft, out-of-focus bokeh of light-colored circles, creating a dreamy and ethereal atmosphere.

今後の取組

「探究の深化」と「地域の学びを繋げる仕組み」を提案

目的

- 探究（学び）の深化に向け、課題発見解決型学習の充実
- 地域の人的資源を活用した新たな学習の実践を探索
- 庄原市内の関係機関との持続可能な連携の構築



地域の学びを繋げる仕組みを提案

「地域とともにある学校」
の実現

持続可能な
地域の創造
の実現

地域の教育力向上

一般社団法人の設立

地域と学校を繋げる主体の構築

森の未来
育て循環
プロジェクト

HIBA KINGS

The background features a light, airy aesthetic with a bokeh effect of soft, out-of-focus light spots in various colors. At the top, there is a cluster of sharp, colorful circles in shades of red, orange, green, blue, and pink. The main text is centered in the middle of the page.

事業終了後における
管理機関の支援

事業終了後における管理機関の支援

「産業実務家教員」「産業教育コーディネーター」の設置(検討中)

産業実務家教員について

1 趣旨

次代の産業を支える専門高校生等に対し、基盤となる基礎的・基本的な技術・技能に加え、産業界のニーズに呼応する形で、デジタル化に対応した産業機器を活用するためのベースとなる力や、将来を見据え、新たな価値や付加価値を創出できる素養(資質・能力)を身に付けさせるための実習等を行うため、産業実務家教員を配置する。

2 産業実務家教員の職

- (1) 産業実務家教員は、県立学校に勤務する会計年度任用に係る職設置要綱における、講師(非常勤)(勤務1時間当たりの報酬単価により報酬を支給する職員)のうち、(2)の資格を有する特別非常勤講師とする。
- (2) 原則として、次のいずれかに該当する者とする。
 - ア 農業生産や農業経営、食品製造や食品流通、国土保全や環境創造、資源活用や地域振興に関する業務への実務経験が通算10年以上ある者、かつ、GAP指導員・ドローン指導員・HACCP普及指導員のいずれかの資格又はこれらと同等の資格を有する者
 - イ ものづくり関連企業等において、旋盤作業、電気工事、電子回路組立、木材加工、測量、化学分析に関する業務への実務経験が通算10年以上ある者、かつ、職業訓練指導員、技能検定1級又はこれらと同等の資格を有する者
 - ウ エンジニア、プログラマー、アプリケーションソフトウェア開発者などの技術者若しくはメタバース空間やアバターを制作するデザイナー又はクリエイター等の実務経験があるなど、デジタル人材育成に係る知識・技術等を有する者
 - エ 食生活、衣生活、住生活及びヒューマンサービス関連業務への実務経験がある者で、調理師、カラーコーディネーター、インテリアプランナー、保育士などの資格又はこれらと同等の資格を有する者
 - オ 国公立又は民間病院等において、看護に関する業務の勤務経験が通算3年以上ある者、かつ、看護師又はこれと同等の資格を有する者
 - カ 国公立又は民間病院若しくは介護施設等において、福祉に関する業務の勤務経験が通算3年以上ある者、かつ、看護師、介護福祉士又はこれらと同等の資格を有する者
 - キ 上記のほか、専門教科の指導に必要な最先端の知識・技術等や高度な技能・技術を有すると認められる者



古川CEO



谷口産業実務家教員



ご清聴ありがとうございました。

